

令和4年度第1回市政懇談会 会議録（要旨）

【日 時】 令和4年6月30日（木） 18時30分 ～ 19時30分
【出席者】 ○篠崎市長 ○（参加者4名） 宇部商工会議所青年部 会長 中野 光国 一般社団法人 宇部青年会議所 理事長 二木 隆行 若き経営者の会 会長 猪熊 修太郎 くすのき商工会青年部 部長 佐貫 健太郎 ○総合政策部長、次長 ○事務局（広報広聴課）
【概 要】 1 開会 2 出席者紹介 3 参加者と市長との意見交換 4 閉会
【意見交換・懇談】
【商工会議所青年部 会長】 ・宇部市をニュースポーツの聖地にしてはどうか。 ・飲食店が打撃を受けており、秋に中央街区公園で飲食のイベントを実施予定である。 ・市内には複数の大学があるが、20歳代の若者の興味が中心市街地に向けられていないと感じる。
【青年会議所 理事長】 ・人口減少が一番の課題であり、人口減少を緩やかにすべきではないかと考えている。地元でどのような企業があるか、若いうちに知っておいてもらえれば、市外に出たとしてもいずれ帰ってきてくれるのではないかと。小学校高学年から中学生を対象とした職業体験ができる催しを開催したい。 ・政治に興味を持ってもらえるよう、市内3校の高校生に若者の視点で、市の課題を掲載した新聞を作成してもらっている。それを広く情報発信をしていく予定である。 ・大学生に、高校生を対象とした就活ガイダンスを開催してもらおう予定である。 ・鳥取県境港市の水木しげるロードは、まちがテーマで一体となっていて良かった。湯田温泉の路地にも、しかけやストーリーがあった。 ・雨の日に遊ぶ施設があればいいなと思う。中心市街地は駐車場が課題になっている。駐車場は必ず必要である。
【若き経営者の会 会長】 ・年に1、2回程度貢献事業として、会員と会員家族で海岸清掃や彫刻清掃を実施している。宇部のように彫刻に直接触れられるところはない。街中にパンチのある彫刻が

あっても良いかもしれない。

- ・街中を回遊できるようなくみがあれば良いと思う。昔の宇部市は自然と回遊する形ができていたと思う。彫刻、エヴァンゲリオンなどで回遊する仕組みがあれば、休日を宇部で過ごせるのではないか。
- ・車を使わなくても中心市街地で遊ぶことができれば良いと思う。花火、かき氷、わたがしなどは、今も昔も変わらず子どもは好きである。
- ・噴水が下から出るだけでも子どもたちは集まるのではないか。ただ、新しい遊び場を作っても、あまり規制が多いとつまらないかもしれない。

【くすのき商工会青年部 部長】

- ・耕作放棄地が目立っている、空き家も今後増えていく、伝統文化（硯等）の継承など、課題が様々あるが、人が足りていないと感じる。
- ・e スポーツやVRのゲームなどができる施設が街中があれば、若い人が集まってくると思う。

【市長】

- ・子どもたちの職業体験が開催される際には私も見学に行かせていただきたい。子どもたちの声を直接聴きたい。新たな稼ぐ力として宇宙産業と医療関係産業は今後の可能性が大きいと思う。将来どんな仕事ができるかということ若い人たちに伝えていきたい。
- ・山口宇部ふれあい公園に設置する大型遊具を選定する際、子どもたちにも投票してもらった。物事が決まっていくことを経験する仕組みがあればいいと考えている。
- ・昔の宇部市には、街中を回遊する仕組みがあった。井筒屋、レッツ09などの拠点を商店街が繋いでいた。ストーリー性を持たせたまちづくりをする必要は感じている。
- ・空き家は北部だけでなく宇部市全体の課題。法律の整備が必要である。耕作放棄地にも様々な種類がある。
- ・北部は課題が多いが人が足りない。行政も同様。人口減少の縮図であると感じる。北部と中心市街地の振興は連携するところがある。
- ・コロナ禍でイベント中止が続いていて、市民がイベントに参加したいと強く思っていると感じている。実際、今年3年ぶりに開催した新川市まつりでは行列ができていた。
- ・中心市街地に、花火広場や、ウォーターフロントとして水に関わる遊び場、新しい施設があってもいいかもしれない。駐車場が課題としてある。ゆめタウンやフジグランは2,000台ぐらい停めることができる。アーバンスポーツを将来、常盤通りで実施したい。
- ・本日は、様々な視点や発想で、率直にお話をさせていただき、大変参考になった。宇部市の子どもたち、高校生、大学生との取り組み等も進めていただいております、大変心強い。宇部市を盛り上げてくため、今後とも「共創」していただきたい。